



広島大学



島根大学

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

令和5年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（調査分析）

広島大学・島根大学共同事業

**「地方大学における理工系の女性研究者が
働きやすく働きがいのある研究環境づくりのための調査分析」**

海外調査報告 (3) ドイツ

広島大学人文社会科学研究所 フンク・カロリン

1. ドイツの高等教育環境

- ◆ **地域構造**：100万都市が少なく、大規模な都市圏もないため、ほとんどの大学が地方都市に立地し、「**地方大学**」である。
- ◆ **高等教育制度**：教育は州の管轄で行われ、大学が主に**州立大学**である。高等教育制度が国と各州の高等教育枠組み法で設定され、州によって制度が異なっている。**109校の大学**の他に、215校の専門大学、その他の芸術、業務大学など、合計428校の大学がある。
- ◆ **子育てと介護**：インタビューの中で、子育てと介護の問題がよく指摘された。男性の子育て参加は増えたとしても、女性のほうが子育ての影響を受けやすい。
- ◆ **大学での雇用形態**：教授までの雇用形態は**任期付きの雇用**が主なため、大学でのキャリアが大変不安定である。**大学と居住場所を転々と移住**することになり、子育てや家族形成に影響を与え、そこで女性のほうがパートナーや家庭との関係を重視し、大学のキャリアを諦める。
- ◆ **教授職の特徴**：ドイツ語圏の場合、**教授職は特別な立場**であり、選考過程が「Berufung」（任命される）という概念が使われ、必ず他大学から雇用することになっている。教授の女性割合を高めるために様々な仕組みが導入されている。一方、その下の任期付きポストの雇用課程における平等対策が弱い。

1. ドイツの高等教育環境

表：専門分野別終身教授数と女性割合

専門分野	全体（人数）	女性（人数）	女性割合
人文科学	3618	1480	40.9%
スポーツ	220	55	25.0%
法学，経済学，社会科学	10704	3528	33.0%
数学，自然科学	5495	1178	21.4%
医学，健康科学	3517	904	25.7%
農林栄養学、獣医学	1017	339	33.3%
工学	11148	1657	14.9%
芸術，芸術科学	2630	911	34.6%
全学施設（病院以外）	450	134	29.8%
大学病院	36	9	25.0%
全体	38835	10195	26.3%

資料：Statistisches Bundesamt (2024) Statistik des Hochschulpersonals Berichtsjahr 2023

2. 全国的な取り組み

(1) ドイツ女性教授プログラム (Professorinnenprogramm)

- 国の公募に対し大学が申請，各大学は3人までの教授ポスト（5年間）を申請できる
- 2008年から開示，**目標：820人の女性教授**を雇用。現在：第4期，2021年5月：787人を雇用
- 申請条件：**男女平等コンセプトの作成と実施**

(2) 研究志向のジェンダー平等基準の設定

- 目標：各キャリアー段階において，前の段階と同じ女性割合を保つこと
- 2008年から開示，2020年からポストドックの女性増加を重視，2022年から「研究志向の平等・ダイバーシティ基準」に最新
- 実施体制：**ドイツ研究振興協会DFG**とその加盟大学
- 研究者に資金助成等の支援を行う際に、この基準達成度についても評価する。そのため，大学の平等担当が最初から申請準備過程に関わることも多い。

成果：教授プログラム，DFGの研究志向のジェンダー平等基準の設定とInitiative for Excellenceなど国のプログラムと組み合わせ，大学における平等に関する認識を高め，教授，大学などの執行部の女性割合が増加した。

3. 州の取り組み(Baden-Württemberg州)



(1) 法律や条例に基づく枠組み：

- **各大学にジェンダー平等担当を設置**：担当内容，負担減少、予算などについて州の高等教育枠組み法や条例で定められている。女性教授が4年間平等担当を勤め，期間中は他の業務から解放され，スタッフと予算が付けられる。ジェンダー平等は大学の全ての政策や戦略の基本概念であるという認識を確立
- **教授の公募**：公募に当たって，大学は積極的に女性の候補者を探す義務がある
- **平等計画の義務と内容**：計画の中で女性割合の数値目標と，それらを実現するための人事、組織、研修の対策が含まれる。
- **大学評議会の女性割合**：2014年から，最低限40%に定められている。この州では評議会が学長と経営理事の選考に関わっているため，この選考過程にもいい影響を与えている。

(2) 具体的な支援策：

- **女性教員推進プログラム**：以前は女性の教授審査準備のための雇用が主だったが，最新のプログラムは女性の Junior Professorまたはテニユア・トラック教授が女性助教を3年間雇用できるプログラムに変更。
- **女性非常勤の雇用推進**：大学との繋がりや大学教育経験を強めるために，女性非常勤を雇用するプログラム。
- **メンターリングと研修**：応募戦略，自己管理，研究費申請などの研修プログラム

4. 大学の取り組み（フライブルク大学）

(1) 大学概要

- 11学部で約24,500人の学生，大学教職員人数は8,200人
- 数百年の伝統のある地方総合大学
- フライブルク市の人口は237,000人程度で，学生がその一割を示している



(2) 女性研究者支援の実施体制と女性割合

- **女性割合**：学生46%，卒業生45%，博士号獲得45%，ポスト・ドック44%，教授（任期付きを含む）29%，学長を含む執行部6人のうち4人女性，セナート（大学の中心的な決定機関；教員，職員，学生からなり，委員は選挙によって選ばれる）48%（2023年）。
- **教授公募と選考過程**：選考過程について各段階における女性割合が公開される。選考委員会の学外メンバーは女性であり，面接に呼ばれた候補者の女性割合が50%を超えているなど条件に合った場合，選考を行った学部が5000ユーロの**経済的インセンティブ**が得られる。その金額が学部の平等対策に投入される。
- **Kite メンターリング・プログラム**：MINT分野の博士課程後期院政とポスト・ドック女性を対象に，英語で実施される。メンターリング，研修，ネットワーク形成，個人コーチングから**自由に内容が選ばれる**。2023年は113人が参加。

4. 大学の取り組み（カールスルーへ大学KIT）

(1) 大学概要

- 11学部学生22.816人，その大半が工学系
- 教職員人数は10.034人（2023）
- 2009年に全国的に展開する研究所と大学が合併した，ユニークな形態の大学
- カールスルーへ市の人口は304.000人である



200周年記念展示会のHPから

(2) 女性研究者支援の実施体制と女性割合

- **女性割合**：学生29%，卒業生30%，博士号獲得28%，ポスト・ドック31%，教授（任期付きを含む）19%，執行部20%，セナート28%（2023年）。
- **オンライン研修**：構成員全員を対象にし，管理職と教授専攻委員会のメンバーには修了が義務づけられている，ジェンダーの能力構築に関するオンライン研修コースがある。
- **Dual Career 相談**：KITで雇用される人材のパートナーの雇用について積極的に相談を提供し，地域内の雇用口を紹介するポータルも準備している。

(3) インタビューから：効果的な取り組み

- 執行部が平等を強調すること，他のテーマ（人材不足など）とつなげること，予算とつなげること，明確な基準

5. まとめ：平等を進めるために

大学の基本的な方針に位置付ける

高等教育制度の法律的な枠組み
に具体的な措置を含める

管理職の研修

研究支援の申請条件に含める

人事選考における積極的な声かけを義務付ける

様々な場面で平等と予算を結びつける

女性教員に付ける予算と
スタッフ

制限：ドイツの大学の雇用制度（任期付き雇用）、子育てと介護の環境